冬が来る

昨日「立冬」だった

寒さに弱くなったと思ったら「立冬」だったのだ

仕事でいそがしくしていたころは「立冬」どころか

寒さをいとわなかった

手帳を見て次に行くところの銀行、郵便局の

手続と機械的に動いていたせいか寒かった

かどうだったか　よく覚えていない

ただ夜行の寝台車は　心地よい温度だった

これでゆれなければと思いながら　一番上の

寝で

寝でつかれているべルトを締めてのって

いた。自分一人の[illegible]軍のつもりで　汽車の

ゆれに身をまかせていた

わずかな時間でも　ぐっすりぬけるもの

だ

現在は一日中休まる時間　だのに

体に負担がしかも

「立冬」さえ大変　着るものはどうなっている

か　去年は立しが冬物を着ていたが

郵便ポストの投函　そして加温機は　と

用意すべきことが多い

去年までの準備

ことなく　　ずるずるまで答をかえていた
今年はどうしたというのだ
ボーヤはいつまで経ってもいるのだろうか　何を考えて
すっかりキャレとしておきたいが変なのだ
もはや階段では手がすりから遠い　せめて
べットの横の部屋に　まはは分かる
少しおくるとき　と今の部屋を見すぎが
出来ず　結局で来たボールペン　フトレメ
すべっちゃく　が目に入る

それをたしづつでも　何を忘れたいのだ
自分の部屋で　自分の部屋で　物は置きすぎ
おきたい　右左へずれり　少ちゃくに重ねて
ある　十二月末までに片づけたい
お正月になる前に　ざっとでいいから
何を忘れたいのだ

2019
11/11